

9月1日は
防災の日

防災意識を高めて 災害に備えましょう

問い合わせ 防災危機管理室 ☎876-1234(内線2021)

関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」です。8月30日から9月5日までの期間は「防災週間」と定められており、その環として浦添市では9月3日(土)正午に防災無線による斉放送を予定しております。災害時には注意喚起や避難誘導などに役立ててください。

また東日本大震災を踏まえ、市では安全な避難をテーマに8月30日から9月9日まで「防災フェア」を開催します。

期間中は、市役所1階ロビーにて避難の際に持つて逃げる「非常持出品」、災害時に備えておくべき「非常備蓄品」や「防災準備品」、そして避難時の服装などを展示します。

いざという時に備えて、災害発生時に本当に必要なものを再度確認してみましよう。

災害時に備えておくもの

災害はいつ発生するか分かりません。不測の事態に備えて「非常持ち出し品」や「非常備蓄品」、「防災準備品」を用意しておくことが安心です。下のチェックリストで確認しましょう。

しかし、買い占めや廃棄につながるような過剰な備蓄は必要ありませんので、適量を常時管理し、賞味期限が近づいてきたら買い替えましょう。



●非常持出品

災害時に持って逃げるものです。両手が使えるようにリュックサックなどに入れておき、玄関など持ち出しやすい場所に置いておくことをお勧めします。男性で15kg以下、女性は10kg以下を目安にまとめておきましょう。

- ☐ 携帯ラジオ ☐ 電池 ☐ 携帯電話の簡易充電器 ☐ ライター
- ☐ 軍手 ☐ 缶切り・ナイフ ☐ 水(500ml×4本) ☐ 雨具
- ☐ ヘルメット(無ければ4つ折りしたバスタオル)
- ☐ 下着類 ☐ ティッシュ ☐ 懐中電灯
- ☐ 非常食(チョコレート、ビスケット、缶詰、インスタント食品など)
- ☐ 救急医療品(絆創膏、傷薬、解熱剤、風邪薬、常備薬など)
- ☐ 貴重品(通帳・印鑑・健康保険証)
- ☐ 公衆電話を利用するための10円玉

※小さな子供がいる家庭は、紙オムツや離乳食、ミルク、哺乳瓶なども。

●非常備蓄品

地震などによって停電や断水、ガスの停止など、ライフラインが途絶えてしまう可能性があります。そのような時に自宅で自ら生活できるように準備しておくものです。飲料水や食料品は、一人につき3日分が目安です。

- ☐ 食料品(缶詰やレトルト食品など)
- ☐ 燃料(卓上コンロ、予備のガスボンベ)
- ☐ 毛布・寝袋 ☐ 水(3ℓ)
- ☐ ラップ・食器類
- ☐ 使い捨てカイロ・マスク
- ☐ 予備の眼鏡



●防災準備品

地震直後の火事や家屋の倒壊に備え、脱出や救出に必要なものや防寒具も準備しておきましょう。

- ☐ 工具(のこぎり、ジャッキ、スコップ、パールなど)
- ☐ 防水シート
- ☐ はしご
- ☐ ロープ
- ☐ 毛布



貴重品の保管方法

保険証、預貯金通帳、印鑑、権利書などの貴重品は保管場所を決めておくこと、すぐに持ち出すことができます。多少の現金も用意しておいた方がよいでしょう。

事前の対策が被害を最小限に抑える5つのカギ

地震や津波、台風など災害に対して早めに対策を打つておくことが被害を最小限に抑えるカギとなります。この防災週間をきっかけに、ご自宅などを点検しましょう。

- ① 柱、土台や屋根などを点検し、老朽化しているものは補強しておく。
- ② 家具等の転倒、落下を防止するため、留め金などで固定する。
- ③ 懐中電灯や消火器を使いやすいところに備えておく。
- ④ 床に飛散したガラスによるケガを防ぐために厚手のスリッパや運動靴を用意する。
- ⑤ 避難が必要となった場合に備えて指定の避難所を家族で確認しておく。



新たに「民間協力緊急一時避難施設」の協定を結びます！

浦添市は、9月5日に災害時の緊急的な避難施設として、次の3施設と協定を結びます。

- ★サンエーマチナトショッピングセンター
(城間2008番地1)
- ★サンエー経塚シティ
(経塚652番1)

主に観光客や地域住民を対象とし、災害が発生した場合、営業時間中は時的に避難場所となります。

★国際協力機構 沖縄国際センター (前田1143番地1)

主に外国人や地域住民を対象とし、これまでの県立浦添工業高校に代わり、災害時には避難所になります。

※各地域の避難場所の詳細は市ホームページをご覧ください。

市ホームページの右上のサイト内検索で「避難先」を検索→「ご存じですか? もしもの時の避難先」をクリック。

友好都市から災害情報を発信

浦添市と蒲郡市が「災害時の情報発信に関する応援協定書」を締結

災害時、市のウェブサイトが閲覧できない状態に

今年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方の太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらしました。地震直後から、岩手県、宮城県、福島県の各市町村のウェブサイトはアクセスの急増、サーバー通信機器通信回線の損壊などの影響で、閲覧ができない状態が続きました。

しかし、被災地の姉妹都市では、地震発生直後から被害の状況等を毎日途絶えることなく、被災地のウェブサイトにて代わってインターネットでの代行発信を行い、的確な情報を発信し続ける事例がありました。

蒲郡市のホームページで浦添市の災害情報を発信

今回、東日本大震災から学んだ災害時情報手段の

教訓を十分に活かすため、浦添市と友好都市提携している愛知県蒲郡市とで、災害時に的確な情報を市民の皆さんが取得できるように、8月1日、「災害時の情報発信に関する応援協定書」を締結しました。

この協定は、浦添市または蒲郡市において大規模な災害が発生し、ウェブサイトでの閲覧ができない状態に備え、被害の状況、避難所の情報、ライフラインに関する情報等を、相互のウェブサイト上で代行発信する応援協力体制を目的としたものです。

今後大規模な災害などが発生し浦添市ホームページが閲覧できない場合は、蒲郡市のホームページへアクセスしてください。



8月1日(月)、蒲郡市役所にて、儀間浦添市長と金原蒲郡市長による「災害時の情報発信に関する応援協定書」調印式が行われました。



災害で浦添市ホームページがダウンしたときに、蒲郡市ホームページで浦添市の災害情報が閲覧できます!

<http://www.city.gamagori.lg.jp>